

と(従業者以外の外部の者には政略的に總罷業も行い)に依つて従業者の統制を揺るがす  
る陰謀の意見) 殆ど合法的な大衆闘争を以て主義上の合同反対と現実上の直接生活問題と  
有効強力に戦い取りうとする意見を持つ者との二派であった。当時満洲問題を中心とし  
て、北支那に戦雲低迷し、満洲に戦野は皇軍の第一線に労働者農民の子弟が硝煙陣  
雨を浴びて「生命」を賭し、祖國日本をために激闘の真只中であつて、しかも、  
風雲愈々急を告げ、  
□際情勢は急迫して、日本を中心に□際戦争の危機は日本全口民  
の眉に迫つてゐた。この場合に戦争の前夜にあつた如き思案を凝らした□際情勢は当面と、  
□防  
事業者主体とする我口製鉄産業の大動脈である製鐵所に總罷業を惹起する事は日本の  
□防の上に重大缺陷を招来し、祖國日本を救済す可からざる軍事上作戦上の不利に陥れ  
ることは明白であつた。製鐵所全従業員は自己の生活問題に直接重大な影響を持つ製鐵  
民合同反対の運動も従業者として處理しなければならぬ、火急を要する立場にあると同時に、  
又□民としての立場から、松岡全權特使に□際懸望脱退を絶叫し、□際情勢物怖々緊張  
した全口民の不安と憔悴の只中、製鐵所民合同反対と總罷業で戦いか否かを考  
へねばならなかつた。製鐵所全従業員は冷然として聰明なる判断は遂に止むのを、従業者

貞正活潑の解決確保の利益の立場から、□防上に重大保障を與へるが如き總罷業を非  
口民的に貴口の行為を断絶する愛口の結論(到達)した。

然し、それは従業者の肉体的な決意であつて、外面的には敢然として第六十四議會會場で總議  
中の製鐵合同法案と飽きまて戦ひねばならなかつた。製鐵所民合同反対は猛然に  
總罷業の決行を決議した。即ち労働階級が生活上の問題を解決するために結成した行  
動的集団組織は労働階級の護身用の剣と云つても良いものである。總罷業はその剣を  
抜いて敵を斬るに論ずべきものである。この剣は断つて抜かすべし、と云  
ふことを表明することは戦ひすして白旗を掲げること等と、敵の蹂躪に任せらるるつて  
ある。何時抜かぬからぬ刀で敵を威嚇し、恐怖させ、この剣を用ひすに敵も威  
圧、降服せしめるのが戦の最上である。反対同盟この戦術を採つたのである。刀を持  
つたが、抜か放つて是非でも斬りねばならぬと言ひは兎戯に類する共産主義的破壊  
運動である。

### △労働階級の歴史的な大勝を記録した 反対運動の不滅の戦功

従業者は勝つた。全従業者の鉄の如き統制と秩序ある大衆的行動と緊密な連絡と  
労働階級の自主的団結の威力は遂に刀を抜き、  
驚異的な快勝を得た。□防